



栃木神社と神木

・明治四十四年四月三日に入植した栃木県足尾銅山砒毒罹災者六十六戸の心のよりどころとして故郷宇都宮市二荒神社より大物主命事代主命三穗姫命の御祭神を移し同年六月十五日この地を栃木神社とした。

この神域は太古より神の鎮座まします地であったのか推定千年といわれる一対の雌雄のオンコの巨木があり、不思議にも男の老木から若木が伸び老若一体となる。これぞ開運隆盛の兆と部落民一同神木と称し敬神敬慕するにいたる。この思想を教育の基盤とし社殿兼用の児童教授所を建て大正二年六月一日に開校した。





神名

神名
祭日
祭典
境内
御朱印

開拓百年
躍進
林業関係百周年記念の碑
先人の偉業を讃え

開基50周年記念碑

昭和35年4月21日建立





日光山多聞寺

大正2年、栃木県日光山内御営
前の日光輪王寺の末寺から佐呂
間町栃木に遷座された





国道333号 交差点の榎木地区案内看板



佐呂間町から北見市へ延びる国道333号 榎木入口交差点



阿部信夫氏の牧場



千葉清美氏の牧場

